

平成28年度 長崎市提案型協働事業 2次審査会・中間報告会 結果一覧

| | | 2次審査 | | | | 中間報告 | | | | | |
|-----------|-----|--|--|-------------|-----|---|--|--|--|--|--|
| 種別 | | 市民提案型 | | 種別 | | 行政提案型 | | 市民提案型 | | 市民提案型 | |
| 団体名 | | アスレティックトレーナー長崎県協議会 | | 団体名 | | ながさきダンカーズ倶楽部 | | NPO法人長崎ウェルネススポーツ研究センター | | 長崎町人町プロジェクト | |
| 担当課 | | 健康教育課 | | 担当課 | | 高齢者すこやか支援課 | | 健康づくり課 | | まちなか事業推進室 | |
| 事業名 | | アスレティックトレーナーによるこどもの体力向上事業 | | 事業名 | | 長く元気で！応援事業 | | アクティブ世代のスポーツライフ支援事業 | | 絶滅危惧ー長崎文化再生事業 | |
| 事業費総額（円） | | 600,000 | | 事業費総額（円） | | 1,480,000 | | 957,700 | | 1,360,000 | |
| （市負担額） | | 480,000 | | （市負担額） | | 1,480,000 | | 667,700 | | 1,000,000 | |
| 審査項目 | 配点 | 各審査項目における平均点 | | 審査項目 | 配点 | 各審査項目における平均点 | | | | | |
| ① 事業の目的 | 10 | 8.8 | | ① 協働のプロセス | 15 | | | | | | |
| ② 事業の実現性 | 15 | 12.0 | | ② 目的・目標の達成度 | 10 | | | | | | |
| ③ 協働の役割分担 | 5 | 3.8 | | ③ 市民の満足度 | 5 | | | | | | |
| ④ 協働による効果 | 15 | 12.6 | | ④ 協働の相乗効果 | 10 | | | | | | |
| ⑤ 費用の妥当性 | 5 | 3.6 | | ⑤ 事業の継続性 | 10 | | | | | | |
| 合計点（点） | 50 | 40.8 | | 合計点（点） | 50 | | | | | | |
| 得点率（％） | 100 | 81.6 | | 得点率（％） | 100 | | | | | | |
| 審査結果 | | 採択 | | 審査結果 | | 審査対象外 | | 審査対象外 | | 審査対象外 | |
| 審査会コメント | | <p>事業目的、実施内容が絞られたことで、取り組む課題が明確になり、事業の実現性が高まったと感じた。事業調整期間において、お互いがコミュニケーションを深め、本審査会に臨んだことも十分に評価したい。</p> <p>事業の実施にあたっては、事前の準備をしっかりと行い、スムーズに開始できる体制を整えていただきたい。また、行政の役割については、事業効果を上げていくための働きかけや事業成果をどう活かしていくかが重要となってくるため、実施校の調整にとどまらず、団体との調整を密に行い事業を進めていただきたい。</p> | | 審査会コメント | | <p>協働事業を進めていく中で良好な関係が築けており、お互いの役割分担のもと、しっかりと事業に取り組んでいることが評価できる。また、団体内で役割分担が図られており、団体が組織としての力が高まっていると感じられた。</p> <p>対象とする定年前の現役世代と団体メンバーとの間にも世代差があるため、ターゲット世代の環境や状況を細かく把握していく必要があると思われる。また、対象者に直接話をする出前セミナーの実施は効果的と思われるため、行政側も担当課だけでなく関係課を巻き込むなどして、大企業だけでなく中小企業等にもアプローチし、実施数を増やしていくよう努めていただきたい。本年度で事業終了となるが、本事業をどういった形で今後につなげていくかを完了報告会では示していただきたい。</p> | | <p>協働事業を進めていく中で良好な信頼関係が構築されており、順調に事業が進められていると感じた。また、前年度の事業を踏まえるとともに、次年度以降の事業のあり方も見据えながら取り組んでいることが評価できる。</p> <p>今後も事業目的である「市民のスポーツの習慣化」を意識しながら事業を進め、さらに効果が上がっていくことに期待したい。</p> | | <p>事業の実施状況について、団体内の状況変化はやむを得ないところではあるが、準備不足や実施体制への不安を感じるため、担当課がしっかりとサポートしながら進めていただきたい。</p> <p>なお、本事業では、作成した冊子をどう活かしていくかが重要であるため、お互いの強みを活かしながら地域での取り組みが広がるよう努めていただきたい。</p> <p>「町人文化」を顕在化し、その文化を地域の人に再認識してもらうことは、まちなかに賑わいにもつながることとして、事業の必要性を感じるため、今回の事業を通して構築された新しいネットワークの中でさらに発展していくことに期待したい。</p> | |